

「神との関係の中で 生きる」

ヘブル人への手紙10章19～25節

1

こういうわけで、兄弟たち。私たちはイエスの血によって大胆に聖所に入ることができます。イエスをご自分の肉体という垂れ幕を通して、私たちのために、この新しい生ける道を開いてくださいました。また私たちには、神の家を治める、この偉大な祭司がおられるのですから、心に血が振りかけられて、邪悪な良心をきよめられ、からだをきよい水で洗われ、全き信仰をもって真心から神に近づこうではありませんか。

ヘブル10:19-23

2

約束してくださった方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し続けようではありませんか。また、愛と善行を促すために、互いに注意を払おうではありませんか。ある人たちの習慣に倣って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょう。その日が近づいていることが分かっているのですから、ますます励もうではありませんか。ヘブル10:23-25

3

神との関係の回復

- 壊れていた神との関係
- エデンの園への道を守っていたのはケルビム 創世3:24
- 聖所と至聖所(神の部屋)仕切っていた厚い垂れ幕に何が織り込まれていたか?
- ケルビム 出エジ26:31-33
- その垂れ幕は、主が十字架で息を引き取られた時、上から下へと裂かれた。マタイ27:15

4

神との関係の回復

- 回復した関係の中で生きる
- 神との関係を回復してくださった方は、罪に感染された私たちを回復させてくださる。
- 関係がいのち、そのいのちを生きよ。関係で生きる＝一緒に生きる。
- 悔い改める＝自分の力や知恵で生きようとする考えを捨てる。神の愛を受け入れ、神の恵み、神の知恵と力で生きる。

5

お互いの関係の回復

- 新しい道、新しい命が与えられている
- 信仰によって、頼りない自分に頼るのではなく、常に真実な神に頼る
- バプテスマの時の告白をし続ける
- 主イエス・キリスト
- 「継続は救い」 信仰は常に現在進行形
- 神の約束(ことば)と真実に頼って生きる

6

お互いの関係の回復

- 愛と善行 愛の人、良い人に成長していく。
- 悪い習慣（考え、行動、習慣、性格、運命）
- 互いに励まし合う、助け合う
- 神の恵みは受けるだけではない。私たちは恵みの管理者
- それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい。1ペテロ4:10

7

お互いの関係の回復

- 愛に生きる
- 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。不平を言わないで、互いにもてなし合いなさい。1ペテロ4:7-9

8

お互いの関係の回復

- 愛と恵で生きること学ぶ
- 悪いことばを、いっさい口から出してはいけません。むしろ、必要なときに、人の成長に役立つことばを語り、聞く人に恵みを与えなさい。神の聖霊を悲しませてはいけません。あなたがたは、贖いの日のために、聖霊によって証印を押されているのです。無慈悲、憤り、怒り、怒号、ののしりなどを、一切の悪意とともに、すべて捨て去りなさい。互いに親切にし、優しい心で赦し合いなさい。神も、キリストにおいてあなたがたを赦してくださったのです。エペソ4:29-32

9

お互いの関係の回復

- 愛と恵で生きる
- ですから、あなたがたは神に選ばれた者、聖なる者、愛されている者として、深い慈愛の心、親切、謙遜、柔和、寛容を着なさい。互いに忍耐し合い、だれかがほかの人に不満を抱いたとしても、互いに赦し合いなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。そして、これらすべての上に、愛を着けなさい。愛は結びの帯として完全です。コロサ13:12-14

10

神との関係の中で生きる

- 人生の答えは神の愛(恵み)、その愛に答えて(神と一緒に、愛に)生きること。
- 答えを知っているだけではだめ。神に答えて生きる。
- 恵みを受けた人は恵みで生き、成長する。
- いのちを受けた人は、その命を生きる。
- 永遠の命を受けた人は、永遠に生きる。

11

約束してくださった方は真実な方ですから、私たちは動揺しないで、しっかりと希望を告白し続けようではありませんか。また、愛と善行を促(うなが)すために、互いに注意を払おうではありませんか。ある人たちの習慣に倣(なら)って自分たちの集まりをやめたりせず、むしろ励まし合いましょ。その日が近づいていることが分かっているので、ますます励もうではありませんか。
ヘブル10:23-25

12